



職員削減で嘱託・臨時職員は

質疑 職員削減は嘱託職員、臨時職員にも及ぶべきだと思うが、その実態はどうなっているか。

答弁 社会教育関係では代行員を除き清掃員で週1日でも午前か午後の半

日勤務で週2回としている。給食センターでは2名の嘱託、19名の臨時職員だが業務の性格上、臨時職員に頼らざるを得ない面がある。

将来の医療費抑制策は

質疑 団塊の世代が高齢者に仲間入りをした時の医療費増加を抑えるための予防策はどのように考えているか。

答弁 今までは早期発見早期治療だったが、健康

の増進で病気にならない体を自らつくる一次予防を重視する方向へ進んでいる。町民ウォーキング大会を計画したのもその趣旨である。

育英資金の貸与

質疑 平成14年度の育英資金の貸与状況は。

答弁 申込者14名に対し6名（大学生4名、高校

生2名）に貸与しています。貸与に当っては推薦基準と選考基準に基づいて適正に行っています。

山崎山の遊歩道の整備

質疑 山崎山の遊歩道の整備が本年ストップしているが、今後いつ再開するのか。

答弁 平成14年度は舗装

を若干したが、館山まで延ばす計画はありません。財政を考えた上で様子を見たい。

要保護児童生徒の就学援助

質疑 要保護児童生徒に対する就学援助は、生活保護を受けている家庭に給食費や学用品費を援助

することか。
答弁 準要保護、要保護世帯に対し給食費を教育委員会が負担している。

国民健康保険税の滞納処理は

質疑 国民健康保険税の滞納者は決まっている人が多いのではないか。また簡単に徴収不能の処理をしていないか。

答弁 滞納者は低所得者に多く、催促して納めてもらっても1千円とか2

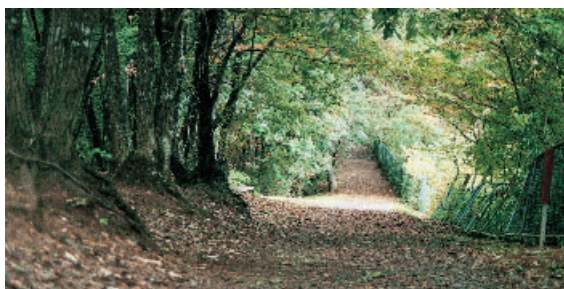
千円程度である。差し押さえる財産もない。現在、過年度分で849名おり、滞納者は大体決まっている。徴収不能処理対象者は、所在不明や生活困窮者等です。

直営の応急処理事業

質疑 道路等の応急処理に常時何名で対応しているのか。

答弁 土木関係6名、住宅関係1名、緊急の場合

は共同で対応するため7名、さらに嘱託2名、合計9名体制です。住民の方からの要望、苦情に対しやれるものは速やかに対応しています。



手軽に自然を感じる山崎山遊歩道